

平成26年度 決算





災害復旧費



平成27年9月定例議会が、9月7日から9月25日までの会 期で開催されました。平成26年度の一般会計・特別会計 の決算をはじめ、平成27年度の一般会計補正など25議案 が審議され、すべて認定・可決されました。5件の発議案で

は、4件が採択され、1件が不採択となりました。

⑥振興協議会に

0

仕事を押し

付け

な

健全な経営がなされている起債残高に対する基金 ③年度内 きた子 ある に実施さ

12万円上回るなど、9る基金残高と算入交 た各種事 いる か、れ |増施策、 お 7 わ めの

①監査報告された 、極めて健々 たが、決算 | 早期健全化基準な 爆全化基準を基づく健全に であ

産業施策など反 ができ見

◎平成二十六年度

般会計歳入歳出決算

に結びつけようと の観光事業は人□ ②農業支援が農家の要求から見て、 い。 の割合が の待遇は極 適切であ 0

報告させるべきでもののでは、 行あの 般施策では 政る て加 るの産 い応 き 適切に である

26年度一般会計決算の認定採決結果(〇賛成×反対)

会計名 / 議員名(議席番号順)	白川	三鴨	米澤	板井	植田	景山	杉谷	青砥	細田田	石上	井田田	亀尾	真壁
平成26年度一般会計歳入歳出決算の認定	0	0	0	0	×	0	0	\bigcirc	0	0	\bigcirc	×	×



西伯小学校芝生化

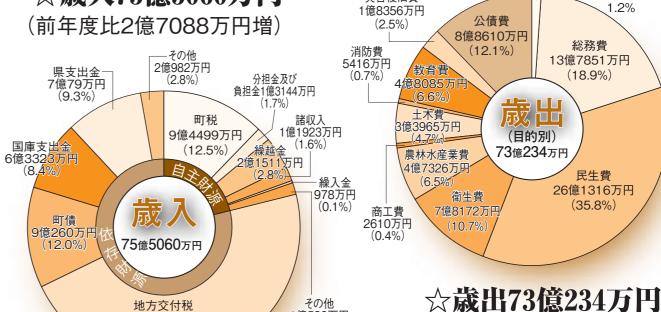


若者向け住宅



総合福祉センター「しあわせ」

☆歳入75億5060万円



1億520万円

☆歳出73億234万円

(前年度比2億3773万円増)

議会費

8526万円

35億7841万円

(47.4%)

平成26年度の一般会計決算額は歳入75億5060万円、 歳出73億234万円で、この収支から翌年度へ繰越すべき 財源8106万円を差し引いた実質収支は1億6719万円の 黒字となった。

○鳥取県西部広域行政管理組合	3億5027万円
〇地域振興交付金事業	5231万円
〇三世代同居支援事業(新規事業)	492万円
〇乳幼児健康支援一時預り委託業務(新規無料化)	421万円
○すみれこども園新築事業	6億8066万円
〇一般廃棄物収集·処理費 ······	8815万円
○誕生祝い金(新規事業)	150万円
〇後期高齢者医療給付金	1億3795万円
〇若者向け住宅事業(新規事業)	520万円
〇西伯小学校芝生化事業(新規事業)	1688万円
○総合型スポーツクラブ支援事業	1275万円
○観光プロモーター等設置事業(新規事業)	642万円
〇中山間·多面的機能交付金事業······	5511万円



すみれこども園



一般廃棄物収集

なんぶ議会だより 第44号 平成27年10月30日発行 ③未来へつながるまち・ひと育成事業…1141万円

(③の主な事業内容)

○ 地域少子化対策強化事業……54万円 ○ 南部町版育児パッケージ開発事業……151万円

○ 未来へつながる人材育成事業………540万円

○ 子育て応援企業育成事業……291万円 ○ 子育ては親育ち! 成長と学び事業……108万円

○ 子育て応援団結成事業……398万円 など



27年度一般会計補正予算の承認採決結果(〇賛成×反対)

会計名 / 議員名(議席番号順)	白川	三鴨	米澤	板井	植田田	景山	杉谷	青砥	細田	石上	井田田	亀尾	真壁
平成27年度一般会計歲入歲出補正予算	0	0	\bigcirc	0	×	0	0	0	0	0	0	×	×

討

「安全保障関連法案」に反対する陳情について、 総務経済常任委員会では採択され、本会議では 不採択される結果となった。議員全員が1時間 以上にわたって、激論を交わした。

案件名	提 出 者	可否	可否の理由
教職員定数改善と義務教育費国 庫負担制度2分の1復元をはかる ための、2016年度政府予算に係る 意見書採択を求める陳情	鳥取県教職員組合西部支部 支部長 藤本 敏秀 鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 岡島 恒志	採択	「安全保障関連法案」に反対する意見書の提出について (反 対) ○戦争を仕掛けるのでなく、仕掛けられた時の抑止力 強化の法案である。 ○70年前と現在の世界状況は、大きく変わっており、必
憲法第9条を反故にする「集団的 自衛権行使容認」の閣議決定の 撤回を求め、「安全保障関連法 案」(別称:戦争法案)に反対する 意見書の提出について(陳情)	鳥取県倉吉市新田129 足羽 佑太	不採択	要な法案である。 〇これまでも憲法第9条の解釈は時代とともに変わってきている。 (賛成) 〇憲法学者の9割以上が憲法違反との見解であり、戦争法案である。 〇日本はこれまで憲法第9条に守られ、平和憲法を世
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 本川 博孝 南部町職員労働組合 執行委員長 泉 潤哉	採択	界も認めている。 ○国民は戦争が再び起こるのではないかと不安になっている。国民の8割が説明不足で、6割が反対であるとの世論であり、政府は説明責任を果たしていない。

「安全保障関連法案」に反対する意見書採決結果(〇賛成 ×反対)

案 件 名 / 議員名(議席番号順)	白川	三鴨	米澤	板井	植田	景山	杉谷	青砥	細田田	石上	井田田	亀尾	真壁	
「安全保障関連法案」に反対する意見書の提出について	×	0	0	×	0	×	×	×	×	0	×			

全員一致の特別会計決算

会 計 名(決算)	歳入 (万円)	歳出 (万円)	差引額 (万円)
墓苑事業特別会計	144	144	0
太陽光発電事業特別会計	14,071	14,032	39
在宅生活支援事業会計	3,123	3,082	41

(太陽光発電特別会計)

鶴田の太陽光発電施設の売電収入は予 算以上の6625万円で26年度に5000万円の 基金を積立てた。

今年度の計画は、起債等の費用が発生し、 3000万円の基金を積立てる予定である。

会は独質的定の影論と



西伯病院

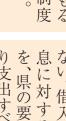
浄化槽接続

(賛成) 補填もあり、黒字であった。保険者 を発高も底をつく が況下で、町から を発高も底をつく が況下で、町から を発高も底をつく を発高も底をつく を発高も底をつく を発高も底をつく を発高を表 の負担と保険者

国民健康保険会計

会共下水会計 農業集落·浄化槽·

(反対) (反対) はり負担増になっ た。生活をまもる ために、減免制度 をつくるべきだ。



とも黒字の決算金もあり、各会計

金もあり

(反対) 思者数の減少 に対し、単価を増 に対し、単価を増 ない。借入金の利 息に対する補助 を、県の要綱どお



CT本体、寝台

題はないと思う。
題はないと思う。
題はないと思う。
の方容には何ら思
の方容には何ら思
の方容には何ら思

問算上か状帯化をに

西伯病院会計

平成26年度 特別·水道·病院事業会計決算の認定採決結果(〇賛成×反対)

会計名(決算) / 議員名(議席番号順)	歳入 (万円)			白川	三鴨	米澤	板井	植田	景山	杉谷	青砥	細田田	石上	井田	亀尾	真壁
国民健康保険事業特別会計	148,687	146,257	2,430	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	X	×
後期高齢者医療特別会計	12,879	12,860	19	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	×	×
住宅資金貸付事業特別会計	282	215	67	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	X	×
農業集落排水事業特別会計	23,968	23,784	184	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	X	×
浄化槽整備事業特別会計	5,218	5,151	67	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	X	×
公共下水道事業特別会計	18,265	18,101	164	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	×	×
水道事業会計歳入歳出	21,967	22,972	△1,005	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	×	×
病院事業会計歳入歳出	243,546	253,565	△10,019	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	×	×

者世帯の増加、

鎖の防止も急務と考率の格差等、負の連

鳥取市方式についての所見は

職員数の見直し等がないと多忙感に繋がる 教育長

全中学校

と現実的に

忙感に繋が

0

てい多 7

0

小

一貫

小 中

ラ・中

取市で

の見直

し等がなされ

般質問ダイジェスト 政 に 問 う!

【質問の通告】 一般質問は、議題と関係なく行財 政全般にわたる議員主導による政 策論議で、通告制で行っている。 一般質問の時間

定例議会において行われ、南部町 は議員からの発言時間は30分以 内と定められている。

町民皆様の声を町政に問います。 Q

平成28年度

貫

から

校にできるようにな校などを義務教育学 で、既存の小・ 教育学校が創設され 教育を実施する義務 ることになった。 市区町村教育 判断 中学 ح る美術 徒指導 科指導では、 区に兼務教員が発令 育に係るもので、 になって 中

級数に応じた職員数すすめるためには学 で極めて少ない。

れは、

委員会などの

本町でも実施して ・家庭科など 特別支援教 いるが、 一貫教育を すでに 教 生 指して がダブリ 学校のカリ \mathcal{O} 進め方は、 本町

の無い

内容

学年の指導をして 9年間を見据えた各 に作り直しながら、 く教育活動の姿を目

町

人権行政の成果と、今後の課題を問う

(生きる力)を歴史から学ぶことについて

計口キ残土処分場跡地利用について

巡廻ふれあいバスの利用向上を求める。

「安保法案」について町長の見解を求める。

住宅リフォーム助成の創設を求める

TPPから撤退するよう国に求めよ

農業を基幹産業に位置づけよ

子育て支援の充実を問う。

児童館・学童保育施策を問う。

地方創生の取り組みについて

育委員会では中学校ることだ。鳥取市教

地域包括ケアシステム構築に向けて

事

「同和対策審議会」答申後、50年にあたり本町の

項

質

小中学校兼務教員について

総合教育会議について

スポーツ環境について

住宅施策を問う。

西伯小学校 低学年リレー

BEEDE BEE

20

30

30

30

30

30

30

が配置された。

万の多忙感が報道さ

20 | 1

2

2

2

をとることの可

能な

中学校兼務教員

内の小学校でも教鞭

に在籍しながら校区

議員名

杉谷早苗

石上良夫

白川立真

板井 隆

植田 均

亀尾共三

真壁容子

細田元教

れているなか、

同和対策審議会答申の成果と課題は

行政の責任として多くの課題を認識している

本町は合併

きれていないと認識

町長

0

戦後復興力を社会教育で

している。

同和問題

の解決に

差別の撤廃に向けて 成果と課題を検証す 半世紀の年月を経 た今日指摘された 部落差別は厳 れ50年が経過 答申が出さ は一定の成果もあっハード面について 多く ており を初め、 たと考えるが、 位置づけ、 を展開してきた。 別をなく を重要な施策として 大黒柱のまちづくり おり、早期の解決への課題が残され 以来、 あらゆる差 面について す取り組み 部落差別 人権が まだ 0 の人権問題に気づか取り組む中で、多く され、 けた行政の責任とと

基本方針について、

る必要がある。

至上

趣旨に十分応え たった同対審答 もに、 さまざまな人

ても、

然と存在しており、

のあり方にまだまだ政の責任と取り組み 権問題に取り組む行 ると認識している 問題を抱えて 方にまだまだ

育として次世代 多くを学び、 えられな 公民館事業と これまでの 1

課題を明確にすべき成果と残されている

南部町として、その

人権行政を推進する

 \dot{O}

と考える。

調査で明

らかに示された母子、

単身高齢

自前学習として、戦修学旅行に向けての して、 いての平 戦争体験者を -和学習や

天萬庁舎標柱

「まち科」の中で検討したい

き様は若者世代が知 で復興するまでの生 知恵を創造し短期間 支え合いや、 き残った人々による 域の復活力がめざま しかった。特に、 期は、 戦後の復興 村や地 新たな

らないところだ。 これらの歴史から 社会教 へ伝

か伺う。

学びの領域として、 たちに必要な新しい ぶ地域教育、 「まち科」 組んでいる。 本町では、 故郷に学 生き方 その

感じる。 近な課題として捉え にくくなっ もたちにとって、 習をしている しかし、 今の子ど 学習に取 ていると 子ども 身

同和解決に向

ある。 復興期と 市民性を涵養するシ 員会において、 チズンシッ ち科」学習の視点で いう趣旨は、 ら生きる力を学ぶと を学ぶキャリ よって、 いう過去か プ教育で 教育委 ア教育、 戦後



町長

白川立真

学校や各種団体等の連携で振興を図る

教育長

基幹産業の地位を失いつつあり困難

町長

Q

名実ともに基幹産業に

団や町民スポ



興施策について ①町のスポー の点を問う。 環境について次 町のスポー е ツ振

③子供たちの体力のの支援について ④スポーツ少年団と 画では、 ながりについて 現状について ぶ」の現状と今後 中学校部活動のつ ツの推進による 教育基本計 生涯スポ t なん

策として取り組ん 健康増進を重点施 具体的に ③昨年度の本県体力 ②教育委員会や健康 体操指導で町民の団体に出向いての 等との事業連携や、福祉課、西伯病院 組みたい。 づくり、町図り、町 半数を超える学年 支援については、 相互の意思疎通を 認知度も高まった。 取り組んでいる。 に連携をして取り ーツ振興、 中学校では全 | 振興、体力 健康増進

体育協会の育成にただいている、町振興を担っていた ツ ている。

速やかに決断した 浮上している。 あるかの問題点も いと考えている。 今後の方向性を



上回っている。

④スポ少の低年齢化 される現状もあり、部活の存続が危惧 身体の健全な発達 部活動数が適切で 数の減少によって、 と考えている。 環境整備が必要だ を考えると好まし が進んでいるが、 いとは言えない。 中学校では生徒

題はないと認識し

政」政策は、一打ち出した 考える。政府は地方 創生を言いながら、 業にするよう、 に位置づけるべきと ともに基幹産

続的に発展させるた農業を再建し、持

か。 要があるのではない ともに位置づける必 基幹産業として名実 めには、町は農業を

農業を名実

戸別所 「新農 町政 をとりまく状況を分50年くらいの、農業 再建の方針を定める べきではないか伺う。 そこから農業

農家を対象にしたナ北の需給調整の緩和、米の需給調整の緩和、 よって、 展望を持てないとい の調整などである。 ラシ対策で価格変動 いている。 う声をあちこちで聞 昨年の米価暴落に 農家は将来 立てが打てない 考えることは自分に る状況で、 現在は外国から遠慮 はできな して、 すことは非常に大事 なしに物が入ってく り効果がないと思う 50年前の農政を検証 なことと思う。 て新しい施策に生か

ただ、

などを検証し 過去の経過

今どうするか

あま

でいる。

町営住宅の改善を求める

町長

指導員を配置している

町長

の見直しを求める

学童保育は、



さらに、洗濯機を置もあると聞いている。 る。 だ。町営住宅の改善 根本的な改善も必要 悪いところが多々あ を求める。 く場所がないなど、 ためにカビが発生 室内の湿気が多 健康を害した方 状態は非常に 町営住宅(0)

られる状況を見てい繕ができず困ってお宅の床や、屋根の修 の方のなかには、 また、 高齢者住宅の修 高齢者世帯 自

今年度内に全面計画を立てる 町が管理す

もの、 景により 修理には多額の費用 ている。 き場、 も必要となる。 かけていると認識し 入居者の方に不便を たもので、 は昭和時代に建設し んでおり、 6り洗濯機の置いで、当時の背 壁の結露など 風呂釜の無い 9、全面的な 老朽化が進

者の理解を得ながら 入居 ついては、補助制度高齢者住宅支援に 払下げ、 画 してい がある場合には、 はなく、 含む全面計画を今年 みなどで生活に影響

いと考えている。個別の相談に応じた 高齢者に限らず、

度内に立てる考えだ。 町営住宅に入居 ただいたらと 住宅のいた 建て替えを 当 る。

民の思い たら を児童館とする計画 大前提の議論が、 法勝寺児童館設置を して

馬場住宅

館・学童保

法勝寺児童館の見直しを

Q



の声が上げられていなどを中心に、反対 に通う児童の保護者 の提案に、学童保育 もなう学童保育併設 議会もその声を 法勝寺児童

こなわれている。 委員会で、 童保育のあり 旨採択の意思を示し 出された陳情書に趣 きく中で、議会に提 現在児童館・学 館の設置にと と矛盾をも いる。 審議がお 方検討 標にむかい充実するするので、共通の目 標にむか で賛成には至らな 議」では、 保育との併設を考え ことを期待して学童 えた。本格的な施設 繕をしながら児童館 をしてきたので、 用年数が残っており、 として児童館を設置 として有効活用を考 これまで多くの投資 討を求める。 「子ども・子育て会 児童館には館長と 併設については 育園舎は、

現行 る。 指導員を配置して

専用施設に改修の検なうこと、あわせて、 のプラザ西伯でおこ 旧すみれ保 耐 待できると考えて 結論が出ても、 委員会でどのような を運営することによ 流れの中で学童保育 今後、 できると考えてい、さらに効果が期 検討中の各 その

る。 50年にならず プラザ西伯 年にならず、改処分制限期間の 専用利用は難 の改修



旧すみれ保育園

修

返って、何かを言っ町長が50年前を振り 左往しており 国自体が困り てみても全く役に立 おり、 って右往 そう

幹産業としての地位 いう中で、農業たないと思う。 が精いっぱいと思 の中で農業を守るの を失いつつあり、 そ



有効な手

平成27年10月30日発行

発議案:全員一致で2件の意見書を国へ提出

案件1

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を はかるための、2016年度政府予算に係る意見書

日本は、OECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生 徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっている。 しかしながら、第7次教職員定数改善計画の完成後9 年もの間、国による改善計画のない状況が続いている。 自治体が見通しを持って安定的に教職員を配置するた めには、国段階での国庫負担に裏付けされた定数改善 計画の策定が必要である。一人ひとりの子どもたちへの きめ細かな対応や学びの質を高めるための教育環境を 実現するためには、教職員定数改善が不可欠である。 また、新しい学習指導要領により、授業時数や指導内 容が増加している。日本語指導などを必要とする子ども たちや障がいのある子どもたちへの対応、いじめ・不登 校などの課題もある。こうしたことの解決にむけて、少 人数教育の推進を含む計画的な教職員定数改善が必 要である。

いくつかの自治体においては、厳しい財政状況の中、 独自財源による定数措置が行われているが、国の施策 として定数改善にむけた財源保障をすべきである。

三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の負 担割合が2分の1から3分の1に引き下げられた。その結 果、自治体財政が圧迫され非正規教職員も増えている。 子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教 育を受けられることが憲法上の要請である。

子どもの学ぶ意欲・主体的なとりくみを引き出す教育 の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠で ある。こうした観点から、2016年度政府予算編成にお いて下記事項が実現されるよう要望する。

- 1.子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数 改善を推進すること。
- 2.教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育 費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

平成27年9月25日

鳥取県西伯郡南部町議会

内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

「地方財政の充実・強化を求める意見書」も国へ提出しました。

\Box	曜日	会 議 ・ 行 事
4	火	日野川水系改修促進期成会同盟会総会 中国横断自動車岡山米子線4車線化促進期成同盟
9		部落解放同盟南部町協議会並びに南部町同和事業推進協議会 第11回定期大会
11	火	2町一村下水道の会 バーガーフェスティバル試食会
17	月	南部町伯耆町清掃施設管理組合定例議会
18	火	南部箕蚊屋広域連合定例議会
21	金	議会運営委員会
23		西部広域消防圏連合演習 特産センター野の花開店16周年記念 南部町・伯耆二町交流作*外
24	月	鳥取県町村議会広報研修会
24	Л	議員研修多文化共生の地域づくりコース (JIAM)
25	火	西部町村議会議長会行政調査
		議員研修多文化共生の地域づくりコース (JIAM)
26	7k	西部町村議会議長会行政調査

26 水

28

	. —		
	31	月	自治体福祉行政入門 (JIAM)
会 議 ・ 行 事	9	月	
日野川水系改修促進期成会同盟会総会 中国横断自動車岡山米子線4車線化促進期成同盟	1	火	西部町村議会議長会表彰式·研修会 自治体福祉行政入門 (JIAM)
部落解放同盟南部町協議会並びに南部町同和事業推進協議会	2	水	自治体福祉行政入門 (JIAM)
第11回定期大会	3	木	自治体福祉行政入門 (JIAM)
2町一村下水道の会 バーガーフェスティバル試食会	4	金	自治体福祉行政入門 (JIAM) 農地パトロール出発式
南部町伯耆町清掃施設管理組合定例議会	5	土	法勝寺·南部中学校体育祭
南部箕蚊屋広域連合定例議会	7	月	定例議会(初日)
議会運営委員会	8	火	定例議会
西部広域消防圏連合演習	9	水	定例議会
特産センター野の花開店16周年記念 南部町・伯耆二町交流イパント	10	木	定例議会
鳥取県町村議会広報研修会	11	金	常任委員会
議員研修多文化共生の地域づくりコース (JIAM)	12	土	西伯小学校運動会
西部町村議会議長会行政調査	14	月	常任委員会
議員研修多文化共生の地域づくりコース (JIAM)	15	火	常任委員会
西部町村議会議長会行政調査	16	水	常任委員会
議員研修多文化共生の地域づくりコース (JIAM)	17	木	常任委員会
西部町村議会議長会行政調査	18	金	常任委員会
議員研修多文化共生の地域づくりコース (JIAM)	21	月	あいみ富有の里 敬老会
議員研修多文化共生の地域づくりコース (JIAM)	24	木	議会運営委員会·全員協議会
第3回地域振興協議会連絡会	25	金	定例議会(最終日)
南部町職員労働組合設立十周年記念式典	26	土	天津振興区「たそがれコンサート」

J ∣	27	\Box	河畔倶楽部観月会 あいみ地区運動会
	28	月	広報調査特別委員会
Ш	29	火	民生常任委員会と教育委員会の懇談会
	1	0	I
Ш	1	木	議会改革調査特別委員会
	'	\\\	広報調査特別委員会①
	3	+	つくし保育園運動会
Ш	0		ひまわり保育園運動会
	4	\Box	天津地区運動会
	8	木	広報調査特別委員会②
	0	1	南部町戦没者慰霊祭
			大山町合併10周年記念式典
	10	土	すみれこども園運動会
			さくら保育園運動会
	11	В	手間地区敬老会
	15	木	西伯地区老人クラブ健康運動会
	16	金	山菜会
	18	В	緑水湖健康マラソン大会
	19	月	議会改革調査特別委員会
$ \ $	13	л	広報調査特別委員会③
	23	金	鳥取県西部広域行政管理組合議会定例会
$ \ $	۷۷	377	西部議長会連絡会
	24	土	会見地区高齢者健康福祉運動会
	25	В	ボランティアフェスティバル

一般質問● 9月定例議会その他案件●

家を活用するこ必要な人材を、 施策だ。 推進を ŋ 明るくなる 町 版CC 地域 る R C

出資

語致と党人厭視整備

ノウハウの提供

活動場所の提供 居住地の提供

´例:学習塾・IT起業家・レストラン・

民宿・芸術家・ハンターなど

9月定例議会

まちづくり会社

必要な人材の

要望 🔳

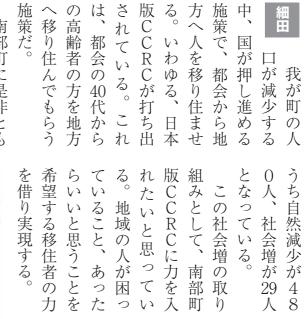
移 高齢者の方を地方 南部町に是非とも 都会の Ŋ 住ん ることに が活性化 でもらう 40 べきと考 代 空き か \mathcal{O} 5

望者

情報発信

運営スタッフ

(公募)



る。

地域

O

2

ノウハ・

ウ め

等をサ

暮ら

ĺ ポ

 \mathcal{O}

仕事

あった

すゥ

る

まち

づくり

5 7

と思うこと

会社

希望する移住者

 \mathcal{O}

推進を図

ŋ

その他案件の採決結果



動態は

うち 5 自然減少が で分析すると 人が減少し、 過去5 4 8

となっ

ている。 社会増がS

29

組みとして、

この

社会増の

n

みづ

< そ

0

必要がある。

ずとしては異質で好がある。行政の

南の取

思う。 やは、 活用 材を 移 \mathcal{O} 生涯学習 住者 17 そ おめの住ま うス O \emptyset ためい 要な キ \mathcal{O} 組いに ムま

0

人口

た

町長

南部町版CCRC

の推進

を

まちづくり会社を設立し

南部町版CCRCイメージ

案 件 名 / 議員名(議席番号順)	白川	三鴨	米澤	板井	植田	景山	杉谷	青砥	細田	石上	井田	亀尾	真壁
南部町個人情報保護条例の一部改正について	0	0	0	0	×	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	×	×
南部町手数料徴収条例の一部改正について	0	0	0	0	×	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	×	×
土地の無償貸付について	0	0	0	0	×	\circ	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	×	×
南部町CATV機器更新事業に関する契約の締結について	0	0	0	0	×	0	0	\bigcirc	\circ	\bigcirc	\bigcirc	×	×

【マイナンバー法に関連する条例改正】

○西部地区の行政事務部会で個人情報保護条 例の一部改正で適用することを決定した。

○申請よって初回は無料で発行される個人カード の再発行に係る手数料の設定条例。



その 他案件 全

南部町税条例の一部改正について

南部町職員の再任用に関する条例及び南部町議会の 議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関 する条例の一部改正について

件

名

南部町特別医療費助成条例の一部改正について 平成27年度南部町水道事業会計補正予算(第1号) 平成27年度南部町病院事業会計補正予算(第1号) 辺地に係る公共施設の総合整備計画の変更について

【特別医療費助成条例の一部改正】

来年4月より、これまで中学生までの医療費無料化を 高校生まで引き延ばす条例改正。

案

なんぶ議会だより 第44号

平成27年10月30日発行

【企画政策課】

若い世帯が多い集落だが、3 月に全世帯の合意がとれて、 公民館の建設を委員会で検 討中である。コミュニティー 事業を使って建設を考えて いる。町の補助がほしい。

(天津地区)

- コミュニティーセンター 助成事業は採択数が少ない ので確約できませんが、町 にご相談ください。
- 集落要望を毎年出すが、途 中の検討状況とか見通しと か年1回の回答ではなく報告 してほしい。 (東西地区)
- △ 町としては、地域振興協 議会に対し、年2回(予算 計上時の2月、その後の進 捗状況について8月)の回 答を行なっています。

バイパスの谷川から向かっ た清水川交差点に信号機の 設置を。

(天津地区)

- 信号機の設置については、 警察(公安委員会)より設置さ れますので、警察(公安委員 会) に要望をします。この要望 を受け警察(公安委員会)で は交通量、危険度などの道路 条件等を調査して設置の必要 性について判断が行われます。
- ふれあいバスは利用者が少 ない。空気を運ぶのであれ ば無料にしたら。

(天津地区)

↓ 持続可能な経営としてい くためにも、無料とするの ではなく、より利用を促進 していけるよう検討したい。

町の太陽光発電の状況はどうなっ ているか。

(天津地区)

- 平成26年度の発電量は 1.530.369kWhで、一般世帯が一年 間に消費する電力を5,500kwhと想 定した場合、約278世帯分をまか なう量を発電しました。売電金額 は66,257,150円となっており、計画 値58.320.000円を上回る収入となり ました。
- 振興協議会の予算は独自に何に使っ てもよい予算なのか。(賀野地区)
- 南部町地域振興協議会支援交付 金規則第2条(自主的、自発的な 地域の活動を行なうために要する 経費) に基づいた使い方であれば 認めています。



あいみ富有の里 主催 賑わうえぷろん「盆花市」

【教育委員会】

南部中の設備が老朽化してきている。特に保健室 のエアコンは機能していない。要望を学校や教育 委員会に言っても実現しない。金がかかるでは済 まない。図書室の上の部屋も補修が必要。 (手間地区)

ご指摘の事案については、学校から一切聞いて ます。発言者と学校側の認識にズレがあったので はないかと推測します。

いないし予算要求も受けていません。学校は緊急 を要しない修繕・改修については、優先度を勘案 しながら計画的、年次的に予算要求を行なっている。

中学校は小学校からそのまま進学する現状だ が、生徒数の少ない中、競争力のこともあり統 合の話は出ているのか。

(賀野地区)

A 児童・生徒の減少化は進んでおり、部活動の見直 しは喫緊の課題となっています。国においては義 務教育9年間を見通した小中一貫教育への移行や「 義務教育学校」の制度化等、様々な学校改革が進 められようとしています。こうした動きをしっか

りと見極めながら、本町中学校のあり方を考える ことが大切です。ただ単に数合わせの統合論は慎 まなければなりません。

なお、その後の聞き取りにより、エアコンは壊

れてはいないが効きが悪くなっています。 また、図書室上部の多目的室補修は一部カーテ ンとなっているものをブラインドに変更する内容 であろうと校長より報告を受けています。

5月19日から地域振興区単位で7回の「住民の声をきく会」で は延べ76名の方にご参加いただきました。

参加者の皆さんから様々なご意見や要望が出されました。

その中で、議会全体としての見解を協議する必要があるものについ ては、当日回答を保留したものを掲載しています。

町行政の考え方、対応に関するご質問については、町行政担当課 からの回答を載せています。

【議会】

地域振興協議会の活動に議員 も参加してほしい。 (法勝寺地区)

議員個人の判断に任せます。

他の市町村との情報交換(地 域おこしなど)、特に米子市 との交流はされているか。 (手間地区)

議会として、特に米子市議 会との交流はしていません。

委員会もSANチャンネルで 放送してほしい。

(法勝寺地区)

- 議会改革調査特別委員会で 放送ができる方向として検討 します。
- 議会の議決の各議員の賛否を 明らかにして残していくこと。 日南町では公表されている。 (天津地区)
- ▲ 今「議会だより」から報告 します。

住民 の声をきく 南 部 町 会 会

| 全員協議会や臨時議会等の内 容を知らせてほしい。

(天津地区)

- SANチャンネルの文字放 送や防災無線でお知らせする ようにします。
- 【 SANチャンネルの議会放送 は見逃すと後で見られない。 伯耆町では後で見られる。 (天津地区)
- 放送DVDを図書館に置くよ うに今後、検討します。 なお、会議録を町のホームペ ージと図書館で見る事が出来 ますので、ご利用ください。

【健康福祉課】

あいのわ銀行の話を聞いた。ポイントを貯 めても、自分が年老いた時にそのポイント を利用できるのか。

(大国地区)

平成8年から旧西伯町でスタートした「あいのわ 銀行 | は、「自立 | 、「互助 | 、「互恵 | を理念 に住民相互の助け合いにより、幸せで安心して暮 らせる「福祉のまちづくり」を推進していくもの です。介護保険制度の導入や対象ボランティアの 拡大など、その時勢に対応した制度の改定を行な い、町民の皆様が利用しやすい制度設計に努めて きました。

平成27年度からは、これまでの活動の記録を点 数化し「預託」という形で貯蓄、サービスを受け たいときにその預託点数を使ってサービスを利用 する仕組みに加え、利用料金制度を新たに導入し、 預託点数と利用料金を併用することにしました。 利用料は1時間あたり300円(3点相当)とし、短時 間の簡易な活動は100円(1点相当)としています。

また、活動に応じた預託点数は、年度ごとに精 算することとし、1点を100円として現金を受け取 られるか、将来サービス利用するための預託とし て残していただくかは、活動いただいた方が選択 できる仕組みとしました。

助け合い活動は、サービスの受け手も時にサー ビスの担い手となる、あるいは、いま担い手であ る人がやがて受け手になるという考え方のうえに 成り立っています。こうした住民主体の参加の仕 組みは地域づくりをすすめていくために欠かせな い活動であり、本町では、「あいのわ銀行」をそ の柱として位置づけております。

今後も「あいのわ銀行」が、住民の皆様の生活 に溶け込み、持続可能な仕組みとなるよう南部町 社会福祉協議会と連携して実施してまいります。

【総務課】

土石流危険地域が多くある。避難所になっている公民館が危険地域にあるところもあり、考えてほしい。 (南さいはく地区)

住民の声をきく会●

承 災害対策基本法の改正により、切迫した災害の 危険から逃れるための指定緊急避難場所と、一定 期間滞在し避難者の生活環境を確保するための指 定避難所が明確に区別されました。指定緊急避難 場所は、災害が発生し又は発生するおそれがある 場合に緊急避難的な場所として、災害の種類ごとに 安全性等の一定の基準を満たす施設又は場所を 市町村長が指定するものです。指定にあたっては、 災害の種類ごとに実態に即した場所となるよう、地 元の皆さんと相談をしながら順次、指定の手続きを 進めてまいります。

また、一定期間滞在するための指定避難所(公民館等)については、災害の状況や施設の被災状況等を勘案し、避難所予定施設の中からその都度指定をしていくこととしております。従って、土砂災害警戒情報等が発令された際の避難所指定については、避難予定施設が危険地域にあるか否かを判断し、危険のない区域にある避難所を指定させていただきます。

(人) 法勝寺地区は昔は賑やかであったが、高齢化等で寂れてきている。どうお考えか。

(法勝寺地区)

法勝寺地区は昔から多くの伝統行事があり、 町の中心地区として商店もあり賑わっていました。しかしながら年々高齢化も進み、事業継承が困難になったり商店の廃止など、かつてん。町としましても、一式飾りの常設展示場の設置、としましても、一式飾りの常設展示場の設置、法勝寺電車を修復し展示場を設置、児童館の設置、複合施設の計画などの施策をご提案していますので、ともに取り組んでいただき活性化に繋げていけたらと考えているところです。 () 指定管理について、施設も15年以上たち老朽化しており修繕費がかかる。5万円以下は振興区で、5万円以上であれば役場となっているが、施設の総点検をして根本的な修繕は考えられないか。 (賀野地区)

▲ 指定管理施設においては、受託者において適切 な管理運営をしていただいているところですが、 施設によっては老朽化が進み大規模な修繕が必要 となってきている施設もあります。



『区「住民の声をきく会」



野地区「住民の声をきく会」

【町民生活課】

- ① ゴミの分別が徹底されていない。分別をせずに 集めて分別業務を町で行なえば、雇用も出来る。 (南さいはく地区)
- ▲ ゴミの処理には、皆様のご協力をいただいても年間約2億円の費用がかかっています。分別作業を町で行うと、年間数千万円の処理費用が新たに発生します。雇用も発生しますが経費増のためにゴミ袋の値段を上げなければならないなどの問題も出てきますので、現状通りでお願いします。
- ()保育園の非正規職員が多すぎるのでは。働く内容は同じ。

(法勝寺・手間地区)

スポネットなんぶの役割がよくわからない。 町民の健康増進の一翼を担わされていると考え ているが。 (手間地区)



A NPO法人「スポnetなんぶ」はその理念として、 『さまざまな世代がスポーツを通じて、ココロも カラダも健康に、いつまでも地域で元気に暮らせ るような、活力あるまちづくりを推進します』と 謳っています。このことは正に、町民の健康づく

りやスポーツ振興に取り組む町の方向性と合致しています。NPO法人と行政が連携、それぞれの特徴を活かし、補完しあいながら町民の健やかな心と身体、健康づくりに取り組んでいただいています。

し 地域活動の中で多くの組織、 団体で子どもの取り合いとなっている。同じような事業も 多い。どこか町で調整してい く体制を考えてほしい。

(手間地区)

▲ 各種団体や組織、行政等が取り組む様々な地域活動、特に青少年育成に係る取り組みが競合化傾向にあるのではないかと認識しています。ご指摘の点については、どんな形で調整・連携できるのか検討する必要があると考えています。

【建設課】

し 地籍調査は何年ごろにどの地域を実施するのか教えてほしい。

(法勝寺地区)

本 地籍調査は、大半を国、県の補助金で行なっており、10か年ずつ計画をたてて実施しています。

法勝寺地区は平成32年以降の計画になります。

○ 一級町道や土手の草刈を住民 ボランティアで行なってい る。燃料補助はできないか。 (大国地区)

▲ 燃料補助の出来る町道かど うか確認する必要があります ので、具体的な場所について ご連絡ください。

- 側溝と民地の擦り付け部分が相当壊れている。町は修理しないのか。※場所確認が必要(東西地区)
- ▲ 町道側溝の擦り付け修理は、 行政要望にて対応しますので 要望してください。但し、危 険個所を最優先します。



南さいはく「地域づくり部」 賀祥~今長線、町道除草作業に燃料代補助

- 馬場住宅のカビがすごく、それが 原因で喘息になった。洗濯機を 置くところもない。改善をお願い する。 (大国地区)
 - □ 湿気対策について、床下に 吸湿性の高い炭を設置する方 法による効果を検証中です。 順次実施を考えています。
- 若者住宅も建てられたが、今後もっと増やす考えか。行政側の考えも併せて回答を。 (天津地区)
- A 単身者、若い夫婦、シングルマザーなどが入居できる住宅が少ないので、住宅の提供は必要であると考えています。町内の既存町営住宅の戸数と民間供給状況を見ながら実施していきます。

【産業課】

プラザ西伯で仕事をしている。 従来はプラザ公園として遊具もあり、来て遊ばれていたが、今 は遊具の点検維持ができず撤 去され砂場だけとなっている。 遊具の更新は出来ないのか。 (賀野地区) 昭和55年にプラザ西伯と同時に設置された遊具ですので、関係図書もすでに廃棄しており、詳細は不明ですが、当時の利用状況を踏まえたうえで、腐食等が進んだため撤去したと思われます(耐用年数:金属製建物付属設備18年)。プラザ西伯の付帯施設として遊具更新の計画は有りませんが、現在、西伯小学校区の学童保育施設の在り方や公民館さいはく分館の施設リニューアルが検討されています。西伯小学校、プラザ西伯を含めたエリアの活用方法、施設の役割分担を検討する中で遊具施設の必要性も課題の一つであると考えています。

なんぶ議会だより 第44号

平成27年10月30日発行

沙一ズ No. 1

愛育会副会長

宅野有理子

私の思い

の方にお世話になりながら、子どもの成長を感子どもたちが入園して3年目。先生方や地域

ひまわり保育



愛育会会長 野口謙二

私の思.

ら小学生になります。 私には、二人の子どもがおり、 長男は来年か

先生方には、個々の子どもたちの性格を把握

大変感謝しております。日々感じる子どもたちの成長は、 し、こどもたちの気持ちに寄り添った指導をし

本当にうれしい限りです。

ていただき、

願っています。 ます。また、生まれ育ったこの地域を愛し、 よりも、人との出会いや人への思いやりを大切にしてほしいと考えていー子どもたちに託す思いや願いは数えきれないほどありますが、私は何 誇りに感じてくれることを

町への要望として、ポイント制で特典と交換できる各種の子育てイベ

ントは面白く、私は時間の許す限り参加しています。交換できる品も充 長く継続してほしいと思います。





斬新な設計で、

木造平屋

保育園は、当時としては ぼ中心に位置する賀野

計された。地域からは、 園として生まれ変わるの ザインした画期的な保育 てほしい《との願いから、 のように真っすぐ成長し 子どもたちが、ひまわり する大型保育園として設 も多くあり、 らは園舎改築を求める声 児も増加した。愛育会か 成長期に入ると年々入園 建てとして建設された。 時代は流れ、 ひまわりをデ 80名定員と 高度経済



あ から Ħ

おいて、

鳥取県町村議宿舎水明荘」に

国民宿舎水明荘

会広報研修会が開

淫催さ

と、そしてページごと いて各町村の広報紙ご として講演があり、 報の基本と編集技術」研修会では「議会広 るところなど厳しく、 れました。 に良い点、工夫を要す 指摘されまし

ある、との評価を受け評では、一定の水準に我が町の広報紙の総 今後の広報紙編集に生 を受けた点も多くあり、 かしていきたいと思い ましたが、アドバイス に存じます。 お聞かせ頂ければ幸甚 読後の感想など

広報調査特別委員会

副委員長 委 委員長 員 杉谷 板井 井田 秦 田 伊 知 雄 郎 隆 早苗

三鴨 米澤 睦雄均

植田

で協力しながら創っていきたいです。

今後も、子どもたちがのびのびと楽しく過ごせる環境を、親と園と町

験ができることは、

保育園にも様々な面から考え取り組んでほしいと思います。

また、ひまわり保育園は、自然や収穫を楽しめる畑が昔のまま残って

地域の方との交流はさらに増えていると思います。このような経

幼少期の大切な時期に必要な心の栄養になります。

食生活や生活習慣などの影響はどうかなど、親はもちろんですが、 なぜ今こんなにも食物アレルギーなどが増えたのか、また、時代に伴う 喘息などを抱えており、園でも除去食を提供してもらっています。

―を抱えている子が増え心配しています。私の長男も食物アレルギ―や

町や園への要望として、近年、

食物アレルギ

私は、

じています。